

高次救命治療センターの外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「雪上スポーツ外傷における緊急外科的介入を要する重症例の特徴の検討」への協力をお願い

高次救命治療センターでは、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象： 2010年12月1日～2020年3月31日に当科において、雪上スポーツ外傷の治療を受けられた18歳以上の方

研究期間： 研究機関の長の研究実施許可日～2025年3月31日

研究目的・方法：

ウィンタースポーツの中でも雪上スポーツであるスキー、スノーボードはピーク時と比較すると参加人口は減少しているものの、2017年には合計で約530万人であり、依然スポーツ参加人口の上位に位置しています。本邦において雪上スポーツ外傷の調査研究は単年度または単一スキー場のものが多く、複数年度に渡り複数のスキー場で調査を行った研究は少ない状態です。本研究では高次救命治療センターで治療した18歳以上の雪上スポーツ外傷患者さんの以下情報を抽出して検討し、臨床的特徴を示し、治療戦略が適切であったかどうかを明らかにし、今後の雪上スポーツを取り巻く救急医療の基礎資料とすることを目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類：

- ・年齢、性別、診断名、病歴、既往歴、家族歴、投薬歴、身長、体重、BMI
- ・接触時からその後のバイタルサイン及び治療経過、当院加療前情報（病院前診療記録、紹介状の内容）
- ・スキー場の受傷コース（緩・中・急斜面、スノーパーク）、雪面状況、受傷者技能レベル（初心・初級・中級・上級者）、ヘルメットやサポーターの着用有無、受傷機転
- ・検査項目：血清総蛋白、アルブミン、AST、ALT、LDH、CK、総ビリルビン、直接ビリルビン、BUN、CRE、尿酸、ナトリウム、カリウム、クロール、BNP、トロポニンI、血糖値、HbA1c、CRP、白血球数、血小板数、PT、APTT、フィブリノーゲン、FDP、AT、dダイマー、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血液ガス分析、乳酸値
- ・単純レントゲン、単純および造影CT検査、MRI検査の画像検査情報
- ・治療経過（輸血の有無や総投与量、経カテーテル動脈塞栓術、手術内容、血液浄化療法の併用有無、人工呼吸器装着の有無と装着期間、気管切開術施行有無、集中治療室入室期間、入院期間）
- ・各種スコアリング（APACHE スコア、AIS コーディング、ISS スコア、外傷固有のスコア）
- ・予後（死亡の有無、退院後のADL、社会復帰率、機能予後、神経学的合併症）

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

電話番号 058-230-6448

氏名：上谷 遼

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター

氏名：上谷 遼

苦情窓口

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@gifu-u.ac.jp